

令和07年度 第4回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和08年03月12日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 王子警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 2名

内容

会議に先立ち当署のふれあいポリスを委員に紹介した。

[業務説明]

- 1 年未年始における重大交通事故及び各種イベントでの雑踏事故防止対策の推進
  - (1) 車両取扱業者に対する協力要請
    - ア レンタカー業者、車両・バイク販売業者に対し、チラシを配布しながら交通事故防止と車両管理の徹底について協力要請を実施した。
  - (2) 子供への対策
    - ア 小学校において自転車のルールについての説明や自転車実技教室を実施した。
    - イ 高校において自転車乗車時の注意点や、4月1日から導入される自転車の反則切符制度について説明しながら事故防止を呼びかけた。
    - ウ 交通安全少年団のクリスマス会において、交通安全クイズなどを実施し、楽しみながら交通安全について学習した。
    - エ 新一年生入学説明会に参加した保護者に対し、交通安全教室を実施した。
  - (3) 高齢者対策
    - ア 団地において交通事故防止に関するチラシを配布し、個別訪問による注意喚起を実施した。
    - イ 北区職員、交通安全協会、町会などの協力を得てキャンペーンを実施した。
  - (4) 三署合同キャンペーン
    - ア サッカー場でハーフタイムに北区三署合同のキャンペーンを実施した。
    - イ 北区三署と隣接する埼玉県警察職員と合同でキャンペーンを実施した。
    - ウ 管内交差点においてチラシを配布しながら自転車や歩行者に事故防止を呼びかけた。
  - (5) 雑踏事故防止対策
    - ア 「王子狐の行列警備」では、交通規制や観衆の見物ブースなどの設置により、混乱もなく警備を完遂した。
    - イ 「初詣警備」、「北区二十歳のつどい警備」、「初午祭警備」も事故なく警備を完遂した。
- 2 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
  - (1) 特殊詐欺の発生状況
    - ア 令和7年中の発生状況、手口、発生地区、被害金品などについて説明した。
  - (2) 被害防止対策
    - ア 北区三署合同の会議において、参加者に対し防犯講話を実施した。
    - イ 武道始式において、総合対処訓練の中でデジポリスのインストール促進を呼びかけた。
    - ウ 管内に所在する企業等に被害防止チラシを渡し、職員に対する広報を依頼した。
- 3 110番通報の現状と不用不急な110番対策について
  - (1) 110番の現状
    - ア 当署における110番通報の現状について説明した。
  - (2) 不要不急な110番への対策
    - ア 事案によっては、地域課のみならず他の課と連携して各種対策や広報を実施し、その結果、110番通報の減少や体感治安の向上という観点からも成果が確認された。
  - (3) 広報啓発活動
    - ア 110番通報と警察相談専用ダイヤルに関するチラシの配布、キャンペーンにおいて広報活動を実施した。
- 4 管内の治安情勢
  - (1) 主な犯罪発生状況
    - 特殊詐欺は前年に比して発生を抑え込んでいる。
  - (2) 交通事故発生状況

人身事故は前年に比して若干減少し、物件事故は若干増加している。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 自転車利用者に対する交通反則通告制度の周知及び違反者に対する取締りの強化推進
    - ア 4月1日から自転車利用者に対する交通反則通告制度が導入される。
    - イ 新たな制度で、浸透させるために積極的に広報し、周知していく必要がある。
    - ウ 悪質・危険な違反者に対しては取締りを強化し、自転車に関連する事故を減少させるよう努めていく必要がある。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
    - ア 令和7年中、当署管内の特殊詐欺被害件数は大幅に増加しており、対策は急務である。
    - イ 犯人からの着信や会話する機会をブロックするためにも、デジポリスのインストール促進を進めていく必要がある。
    - ウ 今後も更なる対策を推進し、被害を抑え込んでいく必要がある。
- 2 協議会からの意見要望等
  - (1) 自転車利用者に対する交通反則通告制度の周知及び違反者に対する取締りの強化推進
    - ア 交通反則通告制度は新たな制度なので内容や趣旨が周知されるよう広報を実施してほしい。
    - イ 自転車利用者のヘルメット着用促進に関して、以前ほど聞かなくなったように感じるので、広報を推進してほしい。
    - ウ 飲酒して自転車に乗車している者への取締りも推進してほしい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進について
    - ア 偽の警察官を騙った詐欺の手口により若い世代まで被害が広がっており、憂慮すべき状況にある。
    - イ 被害の状況などを分析し、その結果に基づき被害を減少させられるよう対策をお願いしたい。

[その他の意見要望等]

- 1 自転車利用者のなかには、車道を通行していたかと思うと、信号が赤になると歩道に上がるなど車道と歩道を縫って走行している者がいるので、対応してほしい。  
【回答】今後、広報啓発活動を実施していく。
- 2 十条駅付近のトレセン通りは道幅が狭いところがあり、車道を自転車で通行するのは危険だと感じる。自転車通行帯を明確に表示してほしい。また、歩道が通行可能なのであれば歩道に表示をしてほしい。  
【回答】道路管理者に確認して、可能な対応をしていきたい。
- 3 デジポリスのインストール推進をしていると思うが、それにより成果が出ているのか教えてほしい。  
【回答】確認してデータがあればお知らせしたい。

その他

令和8年度第1回会議は、令和8年7月開催予定

令和07年度 第3回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年12月12日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

1 重大交通事故防止対策の推進

(1) 交通安全講話

ア 社会福祉協議会において高齢者宅を訪問する職員を対象に講話を実施し、高齢者宅を訪問した際に注意喚起を依頼した。

イ 大型車両を運転する機会のある方を対象として、交通事故が発生する場合の制動距離や空走距離、内輪差や貨物自動車の死角について説明した。

(2) 各種イベントでの広報

ア 北区三署合同の「交通安全北区民のつどい」にタレントのピコ太郎さんを北区交通安全広報大使として招き、交通安全教室を実施した。

イ 「十条まちびらきまつり」会場において、王子交通少年団による鼓笛隊演奏、バトンによる演技を披露した。

(3) 秋の全国交通安全運動

ア 交通ボランティアも参加して出勤式を実施し、パトカーや白バイなどの車両で赤色灯を点灯しながら走行して事故防止を呼び掛けた。

イ 「王子交通安全のつどい」において高齢者交通安全輪投げ大会を実施し、盛況であった。

(4) 交通安全キャンペーン

ア 飲酒運転根絶キャンペーンとして、管内の酒類提供店にハンドルキーパー確認の協力を依頼した。

イ JRの踏切において駅員とともに事故防止キャンペーンを実施した。

(5) 子供に対する活動

ア 交通少年団員による交通安全ダンスが交通総務課のX（エックス）に掲載され交通事故防止を呼び掛けた。

イ 「北区民まつり」の特設ステージで交通少年団員が自転車安全利用五則や少年団の活動についてアピールした。

ウ ウエルカムけいしちょうで来署した小学生に交通安全情報を活用して安全教育を実施した。

2 特殊詐欺の発生状況と対策の推進

(1) 防犯講話

ア 管内の大衆演劇場において高齢者に対し、特殊詐欺被害の実状や12月からデジボリスに搭載される国際電話番号ブロックシステムについて説明した。

イ 高齢者安心センター主催のランチ会や自治会による集会、日本語学校の生徒に対し、被害防止広報を実施した。

(2) 被害防止キャンペーン

ア 「秋の味覚まつり」会場において、警察官かたりの特殊詐欺被害などについて広報啓発活動を実施した。

イ 金融機関職員や北区職員と協働で被害防止キャンペーンを実施した。

ウ 協議会委員が勤務する会社が開催したまつり会場において広報啓発活動を実施した。

(3) 感謝状の贈呈と広報チラシの配布依頼

ア 携帯電話で通話しながらATMを操作していた高齢者に声を掛け、詐欺被害を未然に防止した店舗経営の男性に感謝状を贈呈し、広報チラシの配布を依頼した。

イ 管内の中・高等学校に勤務する協議会委員に広報チラシを渡して、学校で配布してもらい、チラシを持ち帰った生徒に家族で話題にしてもらうよう協力を依頼した。

3 管内の治安情勢

(1) 特殊詐欺発生状況

依然としてオレオレ詐欺が多くなっている。

- (2) 主な犯罪発生状況  
自転車盗は昨年より若干減少しているものの、依然として多い。
- (3) 交通事故発生状況  
人身事故は減少しているが、物件事故は増加している。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 年末年始における重大交通事故及び各種イベントでの雑踏事故防止対策の推進
    - ア 年末年始は飲酒の機会も増え、飲酒運転による重大交通事故の発生も懸念される。
    - イ 飲酒のうえ、路上で寝込んでしまうと車両に轢かれるおそれもあり、都内でも路上横臥による死亡事故も多く発生している。
    - ウ 「王子狐の行列」や「初詣」「北区二十歳のつどい」など多くの人出が予想される行事が予定されており、ひとたび事故が起こると重大な結果が発生するおそれがある。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
    - ア 当署管内の特殊詐欺被害件数は、昨年に比べ大幅に増加している。
    - イ 警察官をかたる手口の詐欺に、あらゆる年齢が被害に遭っており、全年齢に対し被害防止広報を実施する必要がある。
    - ウ 今年も被害の発生を抑え込み、年明けから被害防止にスタートダッシュをしていく必要がある。
  - (3) 110番通報の現状と不要・不急な110番対策
    - ア 管内に居住、勤務している人にとっては、どのような通報があり、警察がどのように対応しているかについては興味があると思う。
    - イ 現在、警察官志望者数が減少しているが、警察官が減少すれば110番通報への迅速かつ的確な対応が困難となり、地域の安全確保に重大な影響を及ぼしかねない。
    - ウ 緊急性が低い事案などが一定数存在し、現場への出動体制を圧迫している現状があり、不要・不急な110番通報への対策は警察全体の検討課題である。
- 2 協議会からの意見要望等
  - (1) 年末年始における重大交通事故及び各種イベントでの雑踏事故防止対策の推進
    - ア 飲酒に絡む交通事故の防止に努めてほしい。
    - イ 昨年、「王子狐の行列」を見に行っただが、場所によっては多くの人出があり、危険であると感じた。雑踏事故を防止するために対策を検討し、事故防止に努めてほしい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
    - ア 若い年代が詐欺に遭っている現状から、若い世代が利用する体育館などに広報啓発チラシを置くなど対策を検討してほしい。
    - イ 住んでいる地域の被害額など具体的な数字を聞くと、より身近に感じる。可能な範囲で具体的な数字を示しながら広報を実施してほしい。
    - ウ 若い世代の被害防止のために学生などへの広報も実施してほしい。中・高校への広報などは授業だけでなく、お昼休みなどの隙間時間を利用するなど工夫しながら広報してほしい。
  - (3) 110番通報の現状と不要・不急な110番対策
    - ア 管内における110番通報の現状と警察官の対応について教えてほしい。
    - イ 不要・不急の110番対策として「警察相談ダイヤル」についての広報に力を入れてほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 最近、管内の幹線道路などにおいて大きなエンジン音を鳴らして走行するバイクがある。危険な走行も目にするために対応してほしい。  
【回答】交通課員による検問実施時やその他の活動時に指導・取締りを実施していく。また、そのような状況を確認したときは110番通報するよう協力してほしい。
- 2 危険な自転車の走行については、警察官がしっかりと自転車利用者から見える形で配置し、それでも違反をするような者を取り締まってほしい。  
【回答】交差点等でしっかりと見せる形で配置し、危険な自転車の走行については取締りを強化していく。

その他

令和7年度第4回会議は、令和8年3月開催予定

令和07年度 第2回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年09月16日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 王子警察署 講堂  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 1名

内 容

[業務説明]

- 1 夏休みにおける子供の重大交通事故・犯罪被害防止対策の推進
  - (1) 子供に対する各種活動
    - ア 園児・小学生に対する交通安全教室
      - (ア) ハンドバペット(手使い人形)を活用した標識の説明
      - (イ) 模擬横断歩道を使った横断訓練の実施
      - (ウ) 自転車利用時のヘルメット着用に関するチラシに子供からのメッセージを記入し、保護者に渡してもらう活動を実施
      - (エ) 小学校の校内放送を活用した広報を実施
    - イ 交通少年団の活動
      - (ア) 第十方面交通少年団統一行事で他の交通少年団員と交流を深め、楽しみながら交通安全教育を実施
      - (イ) 交通少年団夏祭りにおいて、交通事故・犯罪被害防止広報を実施し、絵馬師から安全安心絵馬の寄贈を受けた。
      - (ウ) 打ち水体験をしながら交通安全の呼び掛けを実施
  - (2) 大人による活動
    - ア ボランティアの協力を得て街頭キャンペーンを実施
    - イ 自動車学校の自転車コースにおいて、サンデーバイクスクールを実施
    - ウ 酒類提供店を訪問し、飲酒運転撲滅キャンペーンを実施
    - エ 企業に対する交通安全講話を実施
  - (3) スクールサポーターによる活動
    - 夏休み前に管内の小学校を訪問し、チラシの配布やセーフティ教室を実施
- 2 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
  - (1) 防犯講話
    - ア 高齢者の集まり、日本語学校の入学式、法人会の会議に署員を派遣し、最近の手口などについて講話を実施
    - イ 電話で警察官をかたる手口で国際電話の番号が使用されていることから、国際電話からの着信を止めるサービスなどについて説明を実施
  - (2) 広報啓発活動
    - ア 鉄道駅に最近の手口に関するポスターを貼付し、注意喚起を実施
    - イ 金融機関職員と協力して、店舗においてキャンペーンを実施
- 3 管内の治安情勢
  - (1) 特殊詐欺発生状況
    - 警察官をかたる詐欺が増加している。
  - (2) 主な犯罪発生状況
    - ア 特殊詐欺が大幅に増加している。
    - イ 自転車盗は昨年とほぼ同等の件数が発生しており、依然として多い。
  - (3) 交通事故発生状況
    - 人身事故は減少しているが、物件事故は増加している。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 重大交通事故防止対策の推進
    - ア 日没時間が早くなり、薄暮時間帯における交通事故が多くなる時期に入る。
    - イ 10月から12月の時期が例年、交通死亡事故が最も多く発生している。
    - ウ 当暑管内では自転車が関与する交通事故が多く発生している。
    - エ 年末に向け、より一層各種対策を推進し、重大交通事故の抑止に努めなければならない。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進

- ア 当署管内の特殊詐欺被害件数は、昨年に比べ大幅に増加している。
- イ 警察官をかたる手口の詐欺が急増しており、同手口への対策による被害防止が急務である。
- ウ 最近では、高齢者以外の世代も被害に遭っており、全年齢に拡大して対策を実施していく必要がある。
- 2 協議会からの意見要望等
  - (1) 重大交通事故防止対策の推進
    - ア 電動自転車が猛スピードで走行していて危険なので対策をしてほしい。
    - イ 重大事故を減らすためにも自転車のヘルメット着用を促すような対策をしてほしい。
    - ウ 年末に向け慌ただしくなり、事故に直結する要因が増えることから各種対策を進めてほしい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
    - ア 北区の広報誌やSNSを活用した広報を検討してほしい。
    - イ 聞く人の年代に合った広報活動を展開してほしい。
    - ウ 広報チラシについては、インパクトのある内容になるよう検討してほしい。
    - エ 今後も被害状況を分析して、粘り強く継続して対策を講じてほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 バス停の近くは道路を横断する人が多くいるので、横断歩道を設置してほしい。  
【回答】道路管理者に申入れをしていく。
- 2 トレセン通りは自転車専用レーンが無い場所があり、危険なので自転車専用レーンを設置してほしい。  
【回答】道路管理者に申入れをしていく。

その他	令和7年度第3回会議は、12月開催予定
-----	---------------------

令和07年度 第1回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年06月19日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。

[業務説明]

- 1 子供の重大交通事故防止対策の推進
  - (1) 春の全国交通安全運動
    - ア 交通ボランティアによる交通誘導活動
    - イ 企業や交通安全協会による道路環境整備
    - ウ 悪質交通違反者に対する警告及び取締りを強化
  - (2) 子供に対する各種活動
    - ア 高校生に対し、自転車の交通事故防止について交通安全講話を実施
    - イ 交通安全キャンペーン
      - (ア) 商店街において交通少年団による広報、チラシの配布などを実施
      - (イ) 祭り会場において子供に対する広報を実施
    - ウ 交通安全教育
      - 新1年生に対し、通学路における危険箇所の確認を実施
    - エ 交通少年団への交通安全教育
      - 交通事故で亡くなった小学生が残した「けんちゃんの朝顔の種」をまき、子供達に交通安全意識の醸成と命の尊さについて考える機会とした。
    - オ 「通学路安全運転呼びかけ隊」の委嘱式
      - 管内に11校ある小学校のうち、9校で「通学路安全運転呼びかけ隊」を結成した。
- 2 震災等の災害を想定した諸対策の推進
  - (1) 住民や区などと協働した訓練の実施
    - ア 大規模水害を想定した高台移送訓練の実施
    - イ 水上バス使用水害対策訓練の実施
  - (2) 広報啓発活動
    - ア 東日本大震災から14年経過したことに伴い、署でパネル展示を実施
    - イ 署の外壁に荒川氾濫時の最大浸水深を示したシールを貼付
    - ウ 町会の集まりに署員を派遣し、防災講話と防災パトロールを実施
  - (3) 署員による訓練
    - 他署との合同訓練
    - ア 土嚢の設置や重量物排除訓練の実施
    - イ ツルハシ、ハンマー等を使用した壁面破壊訓練、担架搬出訓練の実施
    - ウ オールや船外機を使用したゴムボート操船訓練の実施
- 3 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
  - (1) 広報啓発活動
    - ア 管内企業や自動車学校に対する広報啓発ポスターの貼付依頼
    - イ 商店街、祭り会場、新築高層マンションエントランスにおける広報
    - ウ 駅やコミュニティバス内におけるデジタルサイネージによる広報
  - (2) 防犯講話
    - ア 高齢者の集まりに署員を派遣し、最近の手口などについて講話を実施
    - イ 小・中学生に闇バイトやネットリテラシーに関する講話を実施
- 4 管内の治安情勢
  - (1) 特殊詐欺発生状況
    - オレオレ詐欺の手口が急増している。
  - (2) 主な犯罪発生状況
    - ア 特殊詐欺が増加している。
    - イ 自転車盗は昨年と比べ減少しているが、依然として発生が多い。
  - (3) 交通事故発生状況
    - 人身事故は減少しているが、物件事故は若干増加している。

## 5 駐車監視員活動ガイドライン及び速度取締指針について

### [警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 夏休みにおける子供の重大交通事故・犯罪被害防止対策の推進
    - ア 統計上、8月は小学生の自転車事故の割合が高まり、特に午前10時から午後2時の時間帯の事故割合が高いという特徴がある。
    - イ 初めて夏休みを迎える小学1年生の交通事故が多い。
    - ウ 子供だけで外出し、行動することで、交通事故だけでなく犯罪に巻き込まれる危険性もある。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
    - ア 本年の特殊詐欺被害件数は近年と比較して急増している。
    - イ 被害手口としては息子や孫、警察官や官公署職員をかたるオレオレ詐欺の手口が増加している。
    - ウ 高齢者だけでなく、若い世代の被害も増えており、年齢にとらわれず広範囲に広報啓発活動を継続して実施する必要がある。
- 2 協議会からの意見要望等
  - (1) 夏休みにおける子供の重大交通事故・犯罪被害防止対策の推進
    - ア 子供だけで外出する機会も増え、両親が仕事をしている家庭では子供だけで過ごす時間が長くなる。
    - イ 子供の行動範囲も広がり、今まで想像しなかった交通上の危険や各種犯罪に巻き込まれるおそれがある。
    - ウ 深夜に大型団地付近に子供が集まることがあり、不安なのでパトロールを強化してほしい。
    - エ 交通事故や各種犯罪被害から子供達を守るための各種活動を強化してほしい。
  - (2) 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
    - ア 最近、自宅にも様々な詐欺の電話が掛かってくる。あらゆる手口に対応するために継続して対策を講じてほしい。
    - イ インターネットバンキングなどを利用すると画面に大きく「特殊詐欺に注意」と警告文が出る。特殊詐欺に関するチラシに色々書かれていても高齢者は読まないと思うので、もっと端的でインパクトのあるチラシを作ってほしい。

### [その他の意見要望等]

- 1 管内に歩道橋が多いが、高齢者はなかなか利用しないので、歩道橋をなくして横断歩道を設置してほしい。  
【回答】区を通じて道路管理者に申入れをしていく。
- 2 十条駅付近の踏切で制服の警察官や白バイが取締りをしているが、取締りだけでなく、スムーズに事故なく通行できるように交通整理にも力を入れて配置してほしい。  
【回答】取締りも交通整理も実施していく。
- 3 最近、小学校低学年がスリルを味わうために万引きをしているという話を聞いた。各種教室の際に万引きは犯罪であることを強く指導してほしい。  
【回答】防犯教室や交通安全教室などあらゆる場面で指導する。
- 4 巡回連絡カードは個人情報に記載するという意味でハードルが高い。理解と協力が得られるようにもっと警察の活動をアピールしてはどうか。  
【回答】各種活動を通じて警察の活動について広報していく。
- 5 勤務先の学校で防犯や交通などに関するチラシを配布すれば、生徒の親にも広報できるので配布するチラシがあれば持ち込んでいただきたい。  
【回答】チラシを配布する際は協力をお願いしたい。

その他

令和7年度第2回会議は、9月開催予定

令和06年度 第4回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年03月13日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内容

[業務説明]

- 1 改正道路交通法の周知と飲酒運転の取締りの強化推進
  - (1) 広報啓発活動
    - ア 町会掲示板及び駐輪場への広報チラシ貼付  
駐輪場職員に対する注意喚起も合わせて実施
    - イ 町会の集会における交通安全講話
    - ウ 北区三署合同による交通安全キャンペーン  
赤羽駅前及び王子駅前交通安全広報を実施
  - (2) 子供を対象とした広報啓発活動
    - ア 交通少年団クリスマス会での交通安全ゲーム等の実施
    - イ 交通少年団による交通安全祈願餅つき大会の実施
  - (3) 二輪車対策
    - ア 二輪車ストップ作戦による広報
    - イ プロテクターの有効性について
- 2 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
  - (1) 被害防止キャンペーン
    - ア 公園の花植え活動の参加者に対する被害防止の注意喚起
    - イ 町会のスポーツ大会における広報活動
    - ウ 駅前における広報啓発キャンペーンの実施  
主に若い世代を対象として闇バイトやSNSに潜む危険性について広報した。
    - エ 歳末防犯・防火パトロールの実施  
開会式において管内の特殊詐欺発生状況や特殊詐欺の手口を紹介した。
  - (2) 町会や銀行待合所における防犯講話  
特殊詐欺の手口や被害状況、防犯対策を紹介
  - (3) 「特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京」について  
管内で多く発生している手口に関するDVDを視聴
- 3 管内の治安情勢
  - (1) 交通事故発生状況  
令和6年中は物件事が増加し、今年も物件事が若干増加している。
  - (2) 主な犯罪発生状況  
令和6年中は自転車盗が大幅に増加したが、今年は若干減少している。
  - (3) 特殊詐欺発生状況  
令和6年中はオレオレ詐欺が大幅に増加し、今年も増加傾向にある。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 子供の重大交通事故防止対策の推進
    - ア 春は入学・卒業に伴い通学経路や状況が変わる子供が多くいるため、交通安全教育をはじめとした交通事故防止対策を推進していく必要がある。
    - イ 4月6日から実施される「春の全国交通安全運動」においても、重点のひとつとして子供の交通安全対策が掲げられている。
  - (2) 震災等の災害を想定した諸対策の推進
    - ア 近年の異常気象の影響から様々な地域で洪水や土砂崩れが発生している。
    - イ 大きな地震が各地で定期的に発生しており、南海トラフ地震への危機意識が高まっている。
    - ウ 王子署でも各種災害の発生を想定して諸対策を推進する必要がある。
  - (3) 特殊詐欺の発生状況と被害防止対策の推進
    - ア 昨年と今年の管内における特殊詐欺被害件数は増加している。
    - イ 幅広い世代に対して広報啓発活動を継続的に実施する必要がある。

2 警察署協議会からの意見要望等

- (1) 新入学児童が子供だけで登下校をするようになるため、交通安全教育や交通事故防止対策を推進していく必要がある。
- (2) 小学校に入学すると子供達の行動範囲が広がる。通学路の危険な箇所がないか確認して対策を講じることで交通事故防止につながるのではないか。
- (3) 王子署管内も河川等が氾濫すれば、広範囲に冠水するおそれがあるため、災害に備えておく必要がある。
- (4) 特殊詐欺の手口を紹介するDVDを見て、ATMの近くで電話をしている人を見かけたら声を掛けようと思った。
- (5) 日本人が外国の特殊詐欺の拠点で犯罪に加担していることが報道されているが、闇バイト等の犯罪行為に加担しないような対策を講じていく必要がある。
- (6) 闇バイトが低年齢化しているため、子供を対象とした防犯教室等で闇バイトについて広報啓発をしていく必要がある。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和7年度第1回会議は、6月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第3回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年12月12日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 前回会議での質問に対する回答  
災害時の行政機関ごとの役割
  - (1) 防災や発災時において警察、消防、区はそれぞれの役割があり、各機関が日頃から連絡を密にしている。
  - (2) 有事の際に、密接に関わり合いながら迅速・的確に活動できるよう対策を講じている。
- 2 台風期における風水害対策
  - (1) 風水害事前対策
    - ア 交番勤務員が吸水性土嚢（どのう）の工作・設置方法を確認
    - イ 資器材の点検、稼動訓練を実施
  - (2) 署員による各種訓練
    - ア 装備資器材習熟訓練  
救出救助部隊員の対応力向上
    - イ 車両避難訓練  
河川の氾濫による水害を想定
    - ウ 心肺蘇生・AED使用訓練  
消防署員の指導の下に実施
  - (3) 広報啓発活動
    - ア 町会、自治会の集会での防災講話  
署員が出向いて身近な防災術等を紹介
    - イ 祭礼やイベントでの広報  
会場で防災チラシやグッズを配布
    - ウ 外国人コミュニティとの協働  
コミュニティの代表者を招いて炊き出し、AED訓練を実施
- 3 110番通報の現状と#9110の利用
  - (1) 110番通報受理件数  
令和5年中の都内及び当署の受理件数
  - (2) 当署の受理傾向  
騒音苦情、パトロール要望、交通物件事故、駐車違反に対する苦情等が多数
  - (3) 通報の種類
    - ア 緊急ダイヤル「110番」
    - イ 警察相談ダイヤル「#9110」
- 4 管内の治安情勢
  - (1) 交通事故発生状況  
交通人身事故、交通物件事故ともに前年比で若干増加
  - (2) 主な犯罪発生状況  
自転車盗が大きく増加
  - (3) 特殊詐欺
    - ア 発生は前年比で若干増加
    - イ 検挙状況と未然防止状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 改正道路交通法の周知と飲酒運転取締りの強化
    - ア 11月1日施行の改正道路交通法による新たな罰則「自転車の飲酒運転等」、「自転車運転中の携帯電話等の使用」等の周知を推進
    - イ 年末は、飲酒機会の増加により飲酒運転に起因する交通事故が多発傾向にあるため、飲酒運転に対する取締りを強化
  - (2) 特殊詐欺等の発生と対策
    - ア 特殊詐欺の発生状況

- (ア) 手口の種類と手口別の発生状況
- (イ) 年間(令和6年)の詳細な被害状況は次回報告
- イ 被害防止対策
  - (ア) アポ電入電時の車両広報、ATMへの固定配置
  - (イ) キャンペーン、防犯講話等の広報啓発活動
- ウ 強盗事件に関する情報発信
  - (ア) 関東圏で多発している強盗事件が体感治安を悪化
  - (イ) 被害に遭わないための具体的対策を含めて情報を発信
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 改正道路交通法の周知について
    - ア 駐輪場や酒類提供店にポスターを掲示するなど広報啓発に努めてほしい。
    - イ 職務質問や検問により自転車の取締りを実施してほしい。
  - (2) 特殊詐欺対策等について
    - ア 被害の状況は昨年と同程度とのことだが、更なる対策を実施してほしい。
    - イ 強盗事件の多発に住民は不安を感じているので、警察から情報を教えてもらって委員からも周知したい。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和6年度第4回会議は令和7年3月開催予定
-----	-----------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年09月27日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内容

[業務説明]

- 1 夏休みに向けた子供の交通事故防止対策等の推進
  - (1) 園児・小学生に対する交通安全教室
    - ア 横断歩道の渡り方や標識の種類・意味について指導
    - イ 模擬信号などを活用した歩行訓練
  - (2) 生徒・児童への広報啓発
    - ア 小学校の全校朝礼や給食時間の放送で、夏休みの交通事故防止を呼び掛け
    - イ 夏祭り会場における交通安全の広報啓発
  - (3) 交通少年団による活動
    - ア 打ち水をしながら交通事故防止の呼び掛けを実施
    - イ ホテルでの青年会議所の式典で鼓笛とパトントワリングを披露
  - (4) 飲酒運転撲滅対策
    - ア 管内企業に署員を派遣して、飲酒運転撲滅や子供の交通特性について講話
    - イ 管内の酒類提供店舗に広報グッズを配布し来店者への呼び掛けを依頼
  - (5) 「通学路安全運転呼びかけ隊」の結成
    - ア 新設された通学路安全運転呼びかけ隊に委嘱状を交付
    - イ 現在までの設置及び活動の状況
- 2 特殊詐欺対策
  - (1) 被害防止キャンペーン
    - ア 祭礼会場における広報啓発活動
      - (ア) 特殊詐欺の手口の説明
      - (イ) 被害防止グッズやチラシの配布
    - イ 関係機関との協働
      - (ア) 当署野球部員と管内高校の野球部員が特殊詐欺や闇バイトへの注意喚起
      - (イ) 署員と金融機関職員が年金支給日に合わせて被害防止キャンペーン
  - (2) 防犯講話の実施
    - ア 町会やアパートマンション防犯協力会員の会合に署員を派遣
    - イ 自動通話録音機の設置促進等を呼び掛け
  - (3) 効果的な広報啓発
    - ア デジタルサイネージの活用
      - コミュニティバスや区役所のデジタルサイネージでの、闇バイトに対する注意喚起、警視庁防犯アプリ「デジポリス」の利用促進
    - イ 署員の戸別訪問や架電による注意喚起
      - 署員一人当たり約40軒の高齢者宅を割り当て被害防止の注意喚起
  - (4) 未然防止と犯人検挙
    - ア 未然防止と検挙の状況
    - イ コンビニエンスストア店員や金融機関職員による被害未然防止事例
    - ウ 協力者に対する感謝状の贈呈
- 3 管内の治安情勢
  - (1) 交通事故発生状況
  - (2) 主な犯罪発生状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 台風期における風水害対策
    - ア 異常気象等の影響
      - 近年の異常気象等により、国内各地で猛烈な大雨や台風が発生し、洪水や土砂崩れ等の被害が頻発している。
    - イ 当署管内への影響
      - 今後、台風等で荒川が決壊した場合、管内の大半が水没して甚大な被害が予想されるため、被害を想定した各種対策を進める必要がある。

- (2) 110番通報の現状と 9110の利用
  - ア 当署の110番受理状況  
多岐に渡る通報内容と警察官の様々な活動
  - イ 9110の利用
    - (ア) 急を要しない心配事などのための警察相談ダイヤル
    - (イ) 相談ダイヤルの利用促進が、110番の適正な運用、真に警察官を待つ人のもとへの一刻も早い到着につながる。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 災害対策について
    - ア 台風期における風水害対策  
王子署管内も大きな河川があり、いつ大きな被害が発生してもおかしくないの  
で、住民を守るために各種対策を進めてほしい。
    - イ 避難場所の車両広報  
災害時に車両で広報する際は避難場所についても広報してほしい。
    - ウ 自治体、警察、消防の役割分担  
区と警察、消防の防災における「棲み分け」について教えてほしい。  
(次回会議で説明予定)
  - (2) 110番通報について
    - ア 管内に居住したり、勤務したりする人は、110番通報の現状や、それに対応する警察官の活動に関心があるので、本日の説明は興味深いものだった。
    - イ 110番通報を分析し、管内の安全・安心を守る各種対策を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 交通事故防止について
  - (1) 街路樹が道路にはみ出して危険な箇所を見つけた場合にはどうすれば良いか。  
【回答】道路管理者に申し入れをするので連絡してほしい。
  - (2) 大きな幹線道路の横断歩道では交通ルールを守らない自転車利用者が多いので、警察官が駐留して注意してほしい。  
【回答】警察官が付近を通る際など、あらゆる機会に注意していく。
- 2 身近な安全・安心について
  - (1) アパートの敷地内に長期間自転車が放置されているが、どうしたらよいか。  
【回答】警察に通報していただければ、確認して対応する。
  - (2) 豊島5丁目駐在所は警察官が常駐していないが、付近に大きな団地があり、高齢者も多く心配している。  
【回答】勤務員が不在の場合は、近くの交番勤務員やパトカー勤務員が迅速に対応するので、安心してほしい。
  - (3) 十条地区の高層マンション建設によって強いビル風が吹くことがあるので、交番勤務員や付近の人が怪我をしないように対策を講じてほしい。  
【回答】負傷者が出ないように注意喚起していく。

その他	令和6年度第3回会議は12月開催予定
-----	--------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月05日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 前回の協議会における質問への回答  
震災訓練等の防災における警察と消防の役割や訓練は、それぞれの立場で異なるものの、実務上、現場では連携、協力しながら活動している。  
町会等で防災訓練を計画する際は、実施内容を含め、その都度相談してほしい。
- 2 子供の重大交通事故防止対策の推進について
  - (1) 保護者に対する交通安全教室
    - ア 小学校の新入学児童の保護者説明会や町会の会合に署員を派遣し、各家庭で交通事故防止意識の向上を図るよう呼び掛け
    - イ 保育園に依頼して、自転車の安全な乗り方に関するチラシを自転車で園児を送迎する保護者に対して配布するとともに駐輪場に掲示
  - (2) 子供に対する交通安全教室
    - ア 効果的な実施
      - (ア) 北区少年野球大会の参加児童に対する自転車交通安全教室
      - (イ) 小学校での体験型教室
        - ・ 署員を派遣して新一年生と校外において歩行訓練
        - ・ トラックを展示し、児童が乗車して死角体験、巻き込み事故の説明
    - イ 模範となる少年に対する表彰  
交通少年団員の卒団式で、警視庁交通部長の感謝状と記念品を授与
  - (3) 春の全国交通安全運動における活動
    - ア 「王子交通安全のつどい」  
俳優の高島礼子さんを一日警察署長に迎え、高齢者の事故防止を呼び掛けた。
    - イ 春の全国交通安全運動出動式  
交通安全協会と協働し、白バイやパトカーが赤色灯点灯走行しながら交通事故防止を呼び掛けた。
    - ウ 高校生に対する自転車安全指導  
署員が高校で自転車の乗り方を指導し、自転車保険加入の重要性を説明した。
- 3 大規模災害を想定した各種対策の推進について
  - (1) 署員を派遣しての防災指導
    - ア 町会の会合で、避難場所や避難経路の確認、非常持ち出し品の準備、非常食の備蓄とローリングストック等について講話
    - イ 日本語学校の留学生に対して、災害発生時に通訳として日本語が話せない外国人を避難誘導するよう依頼
  - (2) 広報啓発活動
    - ア 「災害に強い街づくり」に向けた活動  
商店街での防災パレード、北区と協働した広報等を実施
    - イ 災害対策セミナーの開催  
当庁災害対策課から講師を招いて実施
    - ウ 視覚に訴える広報  
当署ロビーに設置したモニター、鉄道駅のデジタルサイネージを活用
  - (3) 防災訓練・教養
    - ア 職場体験に参加した大学生に対して、災害時に役立つロープワークや災害対策資材を紹介
    - イ 消防署から指導員を招致して署員が救命救急訓練を実施
- 4 管内の治安情勢
  - (1) 交通事故発生状況
  - (2) 指定重点犯罪の発生状況
  - (3) 特殊詐欺の検挙・未然防止

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容

- (1) 夏休みに向けた子供の交通事故防止対策
    - ア 例年の傾向
      - 4月から7月にかけて子供の事故が増加
    - イ 当署管内の特徴
      - 公園付近や住宅街での事故が多く、夏休みを迎えるにあたり、子供を当事者とする事故防止対策が必要
    - ウ 「通学路安全運転呼びかけ隊」の普及促進
      - 通学路で運転手に対し安全運転を呼び掛ける同隊の結成を促し、子供を守るための対策を推進
  - (2) 特殊詐欺対策
    - ア 本年の管内情勢
      - (ア) 被害件数は前年を上回るペースで増加し、被害額も高額に上っている。
      - (イ) 被害に遭わないまでも「アポ電」に関する情報が多数寄せられている。
    - イ 新たな手口への対応
      - 犯人グループは警察の対策を察知して手口を変えてくるため、あらゆる対策を地道に実施していく必要がある。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
- (1) 交通事故防止対策
    - ア 子供の事故防止
      - (ア) 家族の運転する車にひかれて亡くなる子供のニュースをよく耳にするので、自分の家の周りでも十分に気をつけるよう広報を実施してほしい。
      - (イ) 夏休みに入る前に、子供たちに対する様々な活動を進めてほしい。
    - イ 広報啓発の推進
      - (ア) 子供の交通安全教育はもちろん、大人への広報啓発も推進してほしい。
      - (イ) 自転車について、走行ルールや軽車両であるとの認識が浸透していないように感じるので、各種広報や対策を実施してほしい。
  - (2) 特殊詐欺対策
    - ア 最新の情勢を捉えた対策
      - (ア) 高齢者世帯に新たな手口の電話が掛かってきているので、新たな手口に対応する広報を実施してほしい。
      - (イ) 定額減税、新紙幣発行等の新制度に乗じた詐欺の発生も懸念されるので、あらゆる対策を実施してほしい。
    - イ 効果的な広報
      - (ア) デジタルサイネージの活用等、インパクトのある広報を実施してほしい。
      - (イ) 病院など高齢者が集まる場所での広報も必要だと思う。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和6年度第2回会議は9月開催予定
-----	-------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。